



“W,E,D,O”のまちをつかい倒せ！

W:ウォーカブル, E:アイレベル, D:ダイバーシティ, O:オープン

■ コンセプト

まちとは何？三河安城駅周辺はまちだろうか？
使えるだろうか？イベントに使うくらいかな。
日常には？無理かな。なら、まだまちじゃないね。
人のたくさん歩く商店街のように便利で安全で、
色々な機能のある魅力的空間になるといいなあ。
誰もが主体者、みんなでまちをつくり上げよう！

E アイレベル

④マチナカプレイス1・⑤矢総公園
市場＝商店街 生鮮3品基本の地元住民の日用品
日常の賑わい創出の中心施設 改札口前の演出



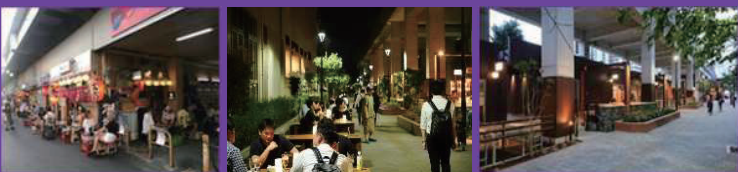
E アイレベル

⑦新幹線南口駅前広場
⑧マチナカプレイス2
⑨ホテルグランドティアラ南名古屋
毎日キッチンカー・屋台・フリーマーケット
日常の賑わい創出 ビジネスマン 若者の受皿



E アイレベル

②三河安城駅連絡通路(ガード下)
近隣のガード下含めて飲食店舗
駅前広場・ペDESTリアンデッキ下空間と関連付
昼夜の日常の賑わい創出 仕事帰りの憩いの場



W ウォーカブル

⑥新幹線北口駅前広場
既存のロータリーを公園に再整備 車の侵入排除
③矢総公園西の広場
長根公園水場共に再整備
明治用水の存在及び恩恵の見える化
住民憩いの空間 市場・高架下店舗と関連付



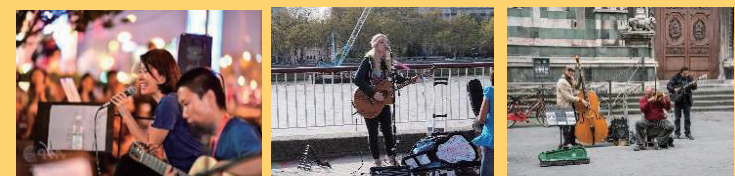
O オープン E アイレベル

⑩⑪南北ツインパーク
神楽山用水利用の水辺公園 明治用水の見える化
子育て世代のショップ・交流・賑わい創出
ペDESTリアンデッキで南北繋ぎ安全に遊ぶ
アリーナ交流拠点連携 市場、キッチンカー関連付
パブリックビューイング設置



D ダイバーシティ

①三河安城駅1号広場
⑩ツインパーク南
公園3か所連携による賑わいの創出
歓喜・熱気・躍動



【明治用水】 疏通千里・利澤萬世(そつうせんり・りたくばんせい)

令和4年5月の頭首工漏水事故をうけて、多くの人が改めて明治用水の重要性和恩恵について再認識することになった。

1986年の新幹線三河安城駅設置に伴う都市整備計画調査時点で、街づくりのメニューには「明治用水の活用」があり、「地域の歴史と未来を融合し、街の軸を形成するために」との提言がある。さらに、楽しく歩ける空間の創出として「明治用水の水を活かし、せせらぎを辿ると街を巡ることができる工夫をする」との提案があった。

今日、提案に基づきかけをみることができ、時間の経過に伴い活用されないままにある。それらを再整備し他要素を付加して各エリアの連携を図ることで人の歩行移動を促したいと思う。

パイプライン化され、目には見えない流れとなった明治用水だが、三河安城のみならず地域発展の礎となっていることを再整備し活用することにより、明治用水の存在と恩恵の見える化するとともに街のアイデンティティの形成要素として位置づけたいと考える。

D ダイバーシティ

新幹線高架下空間＋周辺道路
何かができる場による賑わいの創出



D ダイバーシティ

まちなかデイキャンプ場
焚火のできる場による賑わいの創出
近隣施設と関連付・相互利用

